

ネットワーク通信

11号

発行：平成28年6月
幸手市介護福祉課
ネットワーク事務局
☎0480-42-8438

～幸手市高齢者・障害者地域見守り支援ネットワーク～

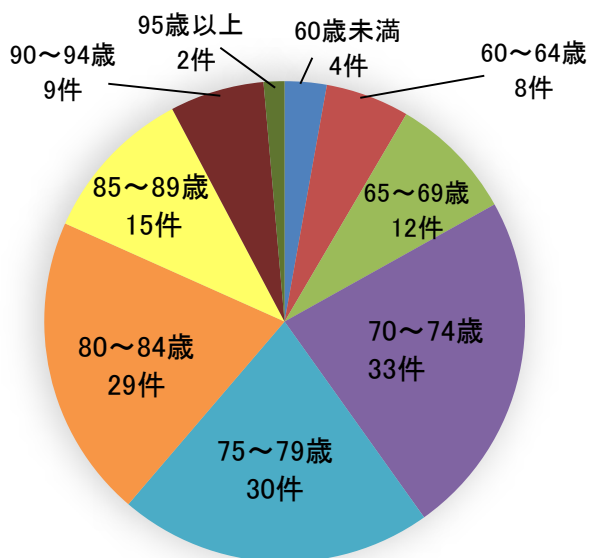
幸手市高齢者・障害者地域見守り支援ネットワーク関係機関の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

このネットワークは、日常生活や日常業務・活動の中で高齢者や障がい者をさりげなく見守り、「困りごとを抱えていそうだ」「最近顔色が悪く痩せてきた」「郵便物や新聞がたまっている」など気になる変化や困った状態を早期に発見して必要な支援につなげる取り組みです。

平成27年度 ネットワーク連携連絡実績

平成27年度は、延べ 142 件(前年比11件増)の連携・連絡を実施することができました。

年代別連携・連絡実績(延べ)



関係機関別実績(延べ件数)

関係機関	件数	割合
医療機関	36件	25.4%
民生委員	32件	22.5%
介護事業所	22件	15.5%
警察	10件	7.0%
自治会・地域住民	10件	7.0%
幸手団地管理事務所	9件	6.3%
市役所内	7件	4.9%
社会福祉協議会(ボランティア含む)	4件	2.8%
保健所	3件	2.1%
消防	3件	2.1%
商店など	3件	2.1%
その他	3件	2.1%
合計	142件	100%

年代別によると、75歳以上の方に関するケースが約60%を占めます。

幸手市の高齢化率(人口における65歳以上の方の占める割合)は30%を超え、高齢者単身世帯や高齢者のみ世帯がめずらしくない状況になっています。

気になる高齢者・障がい者の情報は…

【高齢者】

- ◆幸手東地域包括支援センター：ウェルス幸手内
☎0480-53-6151・FAX0480-53-6160
担当地域：権現堂川・吉田・八代・さかえ・さくら小学校区
- ◆幸手西地域包括支援センター：旧香日向小学校内
☎0480-40-3443・FAX0480-44-0870
担当地域：幸手・行幸・長倉・上高野小学校区
- ◆幸手市介護福祉課(ネットワーク事務局)：ウェルス幸手内
☎0480-42-8438・FAX0480-40-3008

【障がい者】

- ◆幸手市社会福祉課(障害者虐待防止センター)：ウェルス幸手内
☎0480-42-8435・FAX0480-43-5600



ネットワーク全体会を開催しました！



▲声かけ模擬体験の様子

平成28年2月12日(金)ウェルス幸手において、全体会を開催し、各関係機関の代表者様・ご担当者様あわせて76人のご参加いただきました。

ネットワークの平成27年度の実績を報告するとともに、認知症高齢者などへの声かけ模擬体験を実施しました。声かけには驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない、の3つのポイントを心がける必要があります。

自治会や企業などの団体で、認知症高齢者などへの声かけ模擬体験を実施したい場合は、ネットワーク事務局までご連絡ください。

認知症高齢者に対する声かけのポイント

- ・ ゆっくり近づいて、相手の視野に入ってから、話しかける
- ・ 目線を合わせ、ゆっくり穏やかな口調で声をかける
- ・ 急に後ろから声かけたり、大声で怒鳴るように声かけない
- ・ 声かけは「こんにちは」「暑いですね」などの普通のあいさつから。「住所は？」など質問から入らない
- ・ 厳しい顔、困った顔などはせずに、笑顔で相手のペースに合わせてながら接する
- ・ わかりやすい簡潔な言葉で、一つずつ話しかける。返事がないからといって矢継ぎ早に質問せずに、答えをゆっくり待つ
- ・ 「何かお困りですか?」「大丈夫ですか?」「何かお手伝いしましょうか?」などがいい質問



こんなことはありませんか？

～見守りのポイント～

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 顔や腕などに不自然なあざがある | <input type="checkbox"/> 急におびえたり、怖がったりする |
| <input type="checkbox"/> 家の中から怒鳴り声が聞こえる | <input type="checkbox"/> 外出している姿を見かけなくなった |
| <input type="checkbox"/> 最近顔色が良くない・やせてきた | <input type="checkbox"/> お金がないと言うようになった |
| <input type="checkbox"/> うつ状態や投げやりな態度が見られる | <input type="checkbox"/> ずっと同じ服を着ていてお風呂に入っていない |
| <input type="checkbox"/> 昼間でも雨戸が閉まっている | <input type="checkbox"/> ゴミが家の周囲に散乱している、家から異臭がする |
| <input type="checkbox"/> 郵便物がたまったまま放置されている | <input type="checkbox"/> 過度に空腹を訴える、栄養失調が見て取れる |
| <input type="checkbox"/> 家族がいるのに、いつもコンビニなどで1人分の弁当を買っている | |

地域の安全・安心のためにできること

～あいさつから始めよう～

地域の安全を守るためには、人と人がつながり、顔の見える関係になることが効果的です。そのために、まずはあいさつから始めてみましょう。

あいさつをすると、自然と相手の顔を見ます。相手が顔見知りの地域であれば、顔色や表情をさりげなく見ることができ、見守りのきっかけとなります。

また、不審者に対し人の目が行き届いているというアピールになり、防犯対策にもなります。

